



.....Happenings Ten Years Time Ago.

The Epiphone 60's Collection.

創始者エビ・スタソポーロの名に由来する“Epiphone”の歴史は、父親の興したヴァイオリンとリュートの工房“ハウス・オブ・スタソポーロ”を引き継いだエビが、ニューヨーク・シティからロングアイランドへと拠を移し、“エビフォン・バンジュー・コーポレーション”と改名した1928年から始まる。'30年代初頭から発表された7種のアーチトップ・ギターからなるマスタービルト・ラインによって、早くも確固とした評価を確立し、名実ともに'30年代を代表する、名門ギター・ブランドとなった。1936年には、エンペラーを発表。あわせて、1930年代後半からは、時代の要請に応え、他社供給のピックアップ使用ではあったが、エレクトリック・ギター製作を開始。'40年代の終わりからは、エビフォン・オリジナル・ピックアップによる、エレクトリック・ギター・シリーズも発表された。しかし、'50年代に突然吹き荒れたソリッド・ギター・ブームのあおりを受け1958年にはギブソン傘下に吸収・統合されるという運命を辿りながらもギブソンのセカンド・ブランドには甘んじないオリジナリティーを發揮し、吸収以前からのフルアコ・ライン、さらに、カジノに代表されるシンライン・シリーズを加えた最強のラインナップで、激動と栄光の1960年代へと立ち向かうのである。



"Epiphone 60's Collection"

あの、
独特の官能的なカットウェイ・フォルムから
ピックアップ・スベック、コントロールノブのカラー・ニュアンスに至るまで、
秘蔵のオフィシャル・ブループリントを基に、
クラフトテクニックの限りを尽し、'60年代にゴールデン・エイジを創り上げた
エビフォンの銘器たちが、いま、蘇る。

CASINO VINTAGE
CASINO
SHERATON
RIVIELA
RIVOLI EB2
EMPEROR SERIES
ES-930J